

No.443
国外宣教

御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。マタイ 24章 14節

宣教師子弟 就学奨学資金積立献金のお願ひ



国外宣教委員 会計担当 石川 新

「私は贈り物を求めているのではありません。私が求めているのは、あなたがたの霊的な口座に加えられるべく実なのです。」(ピリピ 4章17節)

ピリピの教会は経済的に豊かではありませんでしたが、物資を送って、獄中にいるパウロを支えました。パウロは物資以上にピリピの教会の信仰(霊的な口座)に加えられるべく「実」を喜びましたし、喜びをもって彼らのために祈りました。相互に、主にある麗しい交わりがありました。

昨年、諸教会に3組の宣教師のための自動車献金を呼びかけた結果、5百万円の必要が満たされました。これによって宣教師たちの働きが格段に広がりました。家族の安全上のストレスも軽減されました。感謝致します。

さて、この度は宣教師子弟の就学奨学資金積み立てを、主

にあって呼びかけたいと思います。(この積み立ては、これまでに設置されていたものですが、宣教師の教育費の必要が年々増しているいま、改めて祈りに覚えていただきたいのです。)そこで今年度は3百万円を目標とし、来年度以降は子どもたちの成長とともに必要が増えますので、必要額を超える献金を継続的に呼びかけていきます。

日本では、当然と思っていることも、海外では、事情が全く違うことがあります。子どもの教育もその一つです。日本は国からの補助によって、当たり前のように一定水準の教育を無償で受けることができますが、宣教地ではそうとは限りません。日本では子どもだけで登下校をしますが、宣教地では治安上、親の車あるいはスクールバス(有料)で通うことが義務づけられます。公立学校に治安の問

国名	宣教師子弟人数	2017(実績)	2018(予算)	2019(予測)	学校形態
ブラジル	浜田 4名(真理生、湧希、聖也、翔)	2,815,206	2,692,744	2,792,744	現地校(私立)
タイ	河野 3名(愛友、愛絆、愛恵)	600,000	912,560	1,023,560	インターナショナル
東南アジア	林 3名(稼侖武、由哉、安奈)	1,156,025	1,178,882	1,278,882	日本人学校
合計		4,571,231	4,784,186	5,095,186	

※各金額は教育費として送金した年間総額(授業料および未就学・補助) 単位=円
 ※2017年林師:派遣の年だったので授業料8ヶ月分。入学金・施設使用料(3名約975,000円)含む

題があり、通わせること自体が危険な場合があります。学校により学力水準の格差が大きく、受けることのできない科目(例えば音楽、体育、図工など)もあります。日本の基準を満たすために、他の方法で学力を補わなければなりません。宣教のために、宣教師子弟の教育が犠牲になることは是非とも避けたいのです。選択肢として私立学校、日本人学校、インターナショナルスクール(英語教育)、ホームスクール等があります。ホームスクール以外はすべて有料です。日本の教育水準を海外で整えるためには、費用を掛けなければならぬことがあるのです。ホームスクールもテキスト代が必要ですし、何よりも親(宣教師)の多くの労力と時間が割かれることになりません。

3組の具体的な宣教職務費(教育手当)は上のようになります。宣教師が教会形成を

宣教師の子どもたち



河野師一家 愛友、愛絆、愛恵
 浜田師一家 湧希、聖也、翔
 林師一家 稼侖武、由哉、安奈

目指して長期的に働くために、教育の経済的な基盤を整えることは必須です。宣教師は経済的に豊かな人々だけによって支えられるのでしょうか。私たちの霊的な口座に加えられるべく一つの実こそ、信仰によって献げる人々の集まり(教会)によるのではないのでしょうか。すでに皆様の心の内にあることを、信仰を持って「宣教師子弟・就学奨学資金積立献金」に指定で献げてくださることを願います。(追浜聖書教会牧師)

宣教師子弟・就学奨学資金積立献金 今年度目標 300万円
 送金先: 郵便振替 00120-5-142886
 ※送金の際「宣教師子弟・就学奨学資金積立」と明記ください。